



Vol.2 患者中心主義

慈恵医大附属病院の前身は明治15年に建てられた有志共立東京病院という慈善病院であった。設立当時の日本はまだ貧しく、医者にはかかれず死ぬしかない病人があふれていたのである。英国留学から帰ったばかりの高木兼寛は「東洋の文明の中心をもって任ずる帝都に、まだ一つの慈善病院もないとは一体何事か。およそ人間の何よりの苦しみは、貧乏の上に病気になることだ。何としても慈善病院をこしらえねばならぬ」と言って、自ら発起人になってこの計画を強力に推し進めたのである。

幸い、多くの有志者(皇族、華族、資産家、医師ら)から貴重な寄付金の申し出があり、また華族夫人らがつくった婦人慈善会は、鹿鳴館でしばしば慈善バザーをひらいたりして病院の建設、運営に協力した。とくに同病院看護婦教育所の設立はこの婦人慈善会の援助によるものであった。有志共立東京病院という病院名には、この病院がこれら多くのボランティアによってつくられたという意味がこめられていたのである。後に病院名は東京慈恵医院、東京慈恵会医院と変わるが、このボランティア精神だけは変わることがなかった。

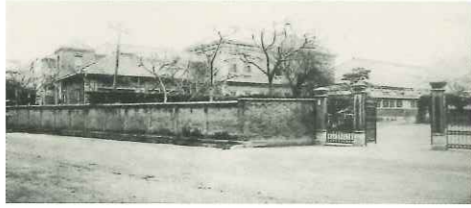
兼寛の患者中心主義は、このような社会的な大きな問題から、患者一人一人の問題にいたるまで広くゆきわたっていた。明治・大正のころはまだ立会いと称して、患者が主治医の診療に疑問をもったときは別の医者に立会ってもらい、二人でその診療をたしかめるといふ風習がのこっていた。ただ多くの場合は、「別の医者」は主治医のメンツを立て、その場を繕うことが多かったらしい。ところが兼寛が立会いをたのまれると、彼の患者中心主義は徹底したもので、主治医の立場を少しも仮借せず、無遠慮にその手落ちなども喋ってしまうので、主治医としては患者の前で赤面せざるを得ないこともしばしばあったといわれる。だから兼

寛と立会うのは試験官の前に出るほど怖かったともいわれる。兼寛にしてみればべつに勿体ぶるわけではなく、患者を正しく診療することの方が主治医のメンツを守るよりはるかに大事であったのである。

兼寛にはまた、豪快な風貌には似合わず、患者の心のひだまで診るような繊細なところがあった。ある夏、彼は鎌倉の華族夫人を往診していたことがあったが、それは進行した胃がん患者であった。兼寛はしかしその病名をだれにも告げることをせず、往診のつど「涼しくなれば良くなるでしょう」と、同じことをくり返すばかりであった。業をにやした主人は、当時飛ぶ鳥も落とす勢いのあった東大の青山胤通教授にあらためて診察を依頼した。ところが青山は患者を診るなり、「これは胃がんですな」と告げたのである。患者はその日からうつ状態になり、間もなく亡くなったといわれる。兼寛が病名を告げなかったのは、実は患者を慰め、いたわる心からきていたのである。

しかし兼寛にもはっきりがんを告知することもあった。実業家の渋沢栄一の場合がそれである。渋沢はこのように書き残している。「面部にがんを患い悩む。高木先生をわずらわしたるに、悪性なればとて、執刀手術をうく」と。そして手術後、兼寛は「もう再発はしない」と明言したというのである。兼寛にはもちろん完全治癒する自信はあったであろうが、もしそうならなくても、渋沢という人物をよく知る彼には、その後渋沢とよく会話し、希望を与え、一緒にがんと闘っていく自信は十分にあったと思われる。

ある識者の言葉に、「教養」とは「人の心がかかる心のこと」というのがあるが、兼寛には患者一人一人の心の痛みを理解する広い「教養」があったのではなからうか。彼が慈恵の学生「明徳会」なる人間教育講座を開いて教えたかったのも、実はこのような相手の心を理解し共感する優しい「教養」であったと思われる。

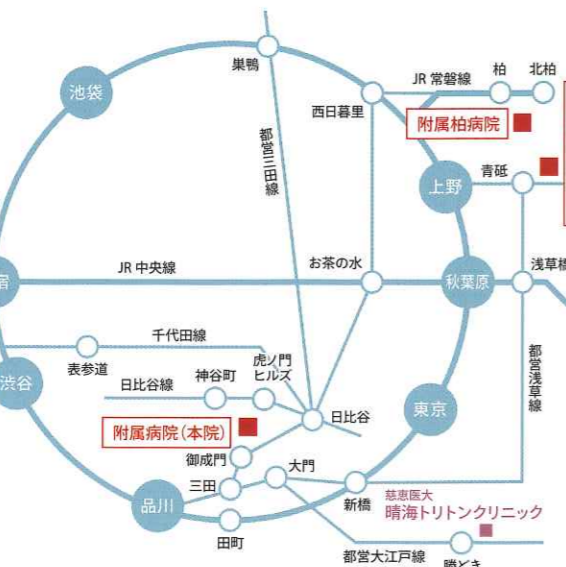


写真：東京慈恵会病院(明治40年) 出典：法人広報誌「The JIKEI」第3号

Access

**第三病院**  
〒201-8601 東京都狛江市和泉本町4-11-1  
☎ 03-3480-1151 (大代表)  
Access  
京王線 国領駅(徒歩12分)  
京王線 調布駅(バス10分)  
小田急線 狛江駅(バス10分)

**附属病院(本院)**  
〒105-8471 東京都港区西新橋3-19-18  
☎ 0570-03-2222 (ナビダイヤル)  
Access  
都営三田線 御成門駅(徒歩3分)  
日比谷線 神谷町駅(徒歩7分)  
銀座線 虎ノ門駅(徒歩10分)  
JR・銀座線・都営浅草線 新橋駅(徒歩12分)



**柏病院**  
〒277-8567 千葉県柏市柏下163番地1  
☎ 04-7164-1111 (大代表)  
Access  
JR常磐線 北柏駅  
(徒歩10分/バス5分/タクシー5分)  
JR常磐線 柏駅  
(徒歩25分/バス15分/タクシー10分)

**葛飾医療センター**  
〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2  
☎ 03-3603-2111 (大代表)  
Access  
京成線 青砥駅  
(徒歩10分/バス6分/タクシー5分)  
JR常磐線 亀有駅  
(バス10分/タクシー5分)

よつば 第3号



広報誌「よつば」について  
東京慈恵会医科大学は4つの附属病院を有しています。「四つ葉のクローバー」のように4病院が有機的につながり合い、力を合わせ、患者さんを中心とした医療を実践していくという思いを込め、誌名としました。



Contents 第2回 慈恵人 曾雌 茂 柏病院 整形外科 診療部長

- TEAM JIKEI ~全ては患者さんのために~
- Jikei History Vol.2 評伝 学祖 高木兼寛 患者中心主義

# 慈 恵 人

第 2 回



東京慈恵会医科大学附属柏病院  
整形外科 診療部長  
**曾 雌 茂** Shigeru Soshi

**Profile** 東京慈恵会医科大学卒業。  
東京慈恵会医科大学整形外科学講座講師、准教授、脊椎・脊髄センター長、教授。  
日本整形外科学会専門医、日本整形外科学会脊椎脊髄病医、日本整形外科学会スポーツ医、日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医、  
日本整形外科学会代議員、日本脊椎インストゥルメンテーション学会評議員、日本成人脊柱変形学会幹事など

このコーナーでは、慈恵大学の4つの附属病院で活躍されている教職員を「慈恵人」として紹介します。  
第2回は、附属柏病院(千葉県柏市)の整形外科、曾雌診療部長をご紹介します。曾雌先生に現在附属柏病院整形外科で取り組まれていることや、ご自身が「慈恵人」として日頃から患者さんに対して心がけていることなどを伺いました。

## 自己紹介 ~self-introduction~

東京慈恵会医科大学柏病院で副院長、ならびに整形外科の診療部長を務めている曾雌茂です。皆さんご存知のように整形外科は運動器の疾患を扱う診療科ですが、その中でも脊椎・脊髄疾患(いわゆる背骨の病気)が私の専門です。1999年から約20年間本院に勤務し、脊椎・脊髄センターの立ち上げに関わり、初代センター長も務めさせていただきました。2018年から柏病院に勤務しております。

## 信念 ~belief~

私どもの東京慈恵会医科大学整形外科講座は1922年に開講し、国内では五番目に古い歴史を有しています。その伝統を踏まえ「不易流行(伝統を踏まえつつ、一方では新しいものを取り入れることが大切とする松尾芭蕉の理念)」の精神でより良い医療を提供すべく頑張っています。患者さんがスポーツや旅行などの趣味を通じて「日々の生活をエンジョイできる」ように手助けしたいと考えています。歩けなかった人が歩けるようになり、ゴルフや旅行を楽しんでいるのを見ると嬉しい限りです。現在は高齢者の増加に伴い、腰部脊柱管狭窄症などの脊椎疾患にお悩みの人が増えています。手術以外の治療法が無効な場合には手術をお勧めしていますが、手術はできるだけ丁寧に行うように心がけています。手術は早いに越したことはありませんが、時間を気にして雑になることは避けなければなりません。「丁寧に、その次に早く」を心がけています。

# 患者さんを笑顔で元気に

## ■ 附属柏病院の紹介

柏病院は当大学の附属病院で唯一東京都ではなく千葉県にある病院です。柏市を含めた東葛北部地域の基幹病院として地域の急性期医療を担っています。柏病院のスローガンは『病気を診ずして病人を診よ』という慈恵医大の建学の精神を礎にした『“患者を診る”慈恵の心とともに、急性期医療を推進し地域に貢献する大学病院』であり、患者さんの立場に寄り添った全人的医療を提供することを目標に、職員一丸となって頑張っています。



柏病院整形外科スタッフ……ぜひご相談ください

## ■ 柏病院整形外科の特徴

### (1) 救急外傷・高エネルギー外傷への対応

交通事故による四肢多発骨折や骨盤骨折、転落による脊椎・脊髄損傷など患者さんが多く運ばれてきます。柏地域では唯一、3次救急を受け入れており、東葛北部医療圏のみならず、埼玉や茨城からの救急患者も少なくありません。整形外科の外傷チーム、脊椎チームを中心に医局員、救急部と協力して治療に当たっています。

### (2) 変性疾患への対応

股関節疾患(大腿骨頸部骨折、人工股関節)、膝関節疾患(人工膝関節)などに積極的に取り組んでいます。脊椎疾患では変性疾患(ヘルニア、脊柱管狭窄症、骨粗鬆症、圧迫骨折)のみならず、若年者の側弯症や高齢者の腰曲がりなどの姿勢異常の矯正手術も行なっています。

健康寿命の延伸をめざして、専門性の高い疾患から骨折などの外傷まで、やる気に満ちたyoung Dr.、優秀なsenior Dr.達と一緒に頑張っています。中には東京や神奈川から通ってくれる患者さんもいます。お困りの患者さんがいたらご相談いただければ幸いです。



柏病院  
TOP



柏病院  
整形外科



# TEAM JIKEI

~全ては患者さんのために~

## 病院を支えるコメディカルの紹介(看護部・看護師編)

病院を支える医師以外の職種(コメディカル)について、ご紹介するコーナーです。  
患者さんがご来院やご入院の際に、一番多くの時間を共に過ごしている、看護部(看護師)について  
第1回の今回は、各附属病院の看護部長に特徴や患者さんへのメッセージを聞きました。

### 附属病院(本院) 看護部



附属病院(本院)  
看護部長  
**玉上 淳子**  
Junko Tamagami



附属病院(本院)  
看護部

#### ●附属病院看護部の特徴

急性期医療を提供する特定機能病院としての使命を果たすために、さまざまな病に対応するチーム医療の中核となる役割を果たし、患者さんのQOL(生活の質)を最優先にとらえ、その人らしい生活を送ることができるよう日々研鑽しております。

#### ●患者さんへのメッセージ

看護は「他者がうまく生きていけるように、自己の持てる力を差し出しつつ関わり、他者のより良い状態を自己の喜びとする仕事」という、ナイチンゲールの教えを基盤として、日々の看護に取り組んでおります。

### 第三病院 看護部



第三病院  
看護部長  
**小澤 かおり**  
Kaori Ozawa



第三病院  
看護部

#### ●第三病院看護部の特徴

三重の関心(知識と技とやさしさを重ねて)を注ぐナイチンゲール看護を基盤に、認知症看護、未病を予防する健康推進に力を入れています。また、2026年1月開院の新病院につくられる緩和ケア病棟の準備も始めました。

#### ●患者さんへのメッセージ

地域医療支援病院として地域の方々より良い街づくりを目指し、未病から急性期、緩和ケアと、皆さまの生涯にわたり、共に歩むことができる看護を実践していきたいと考えております。何卒、ご支援ご指導を賜りたくお願い申し上げます。

### 葛飾医療センター 看護部



葛飾医療センター  
看護部長  
**山下 正和**  
Masakazu Yamashita



葛飾医療センター  
看護部

#### ●葛飾医療センター看護部の特徴

地域に開かれた病院として、開院以来取り組んでいるPFM(Patient Flow Management)に力を入れ急性期における地域密着の医療に取り組み、地域と連絡・連携が必要な方が少しでも早く自宅で安心して療養ができる看護を実践しております。

#### ●患者さんへのメッセージ

「困ったときにいつでも来院」を合言葉に、地域全体で治し支える地域完結型医療を支えるために、患者さんの意思決定支援と患者さんが健康的な状態を自らつくり出せるために生活を支える看護に取り組んでいます。

### 柏病院 看護部



柏病院  
看護部長  
**林 由美**  
Yumi Hayashi



柏病院  
看護部

#### ●柏病院看護部の特徴

慈恵に「来てよかった」と思っていたいただける病院をめざして、認定看護師や専門看護師、匠ナースが看護外来や医療チームラウンドを行い、患者さん一人ひとりの個別にあわせて看護を提供できるように努めております。

#### ●患者さんへのメッセージ

「今、お困りのことはありませんか?」病名を告げられて、どうすればよいかわからない。痛みがある。眠れない。食事がうまくとれない。認知症の家族の介護が辛い……。看護師にお話ください。一緒に解決の糸口を見つけましょう。